



カトリック新聞社
〒143-8585 東京都目黒区目黒
2-1-15 第10号
電話 03(5632) 4433(代表)
03(5632) 4435(編集)
03(5632) 4434(広告)
FAX 03(5632) 7130
印刷 1地00170-4 106083番
Eメール 編集 cwpjpc@cwjpn.com
編集 kokoku@cwjpn.com
広告 kokoku@cwjpn.com
URL www.cwjpc.com cwpjpc
©カトリック新聞社 2011
定価 1部 250円(本誌 250円)
予約購読料金(1年内)
1年 2480円(980円)前巻付送料
1年 2240円(950円)前巻付送料

全容なお不詳

仙台で3司教ら会談

支援へ態勢づくり始動

号外 東日本大震災



仙台司教館のある宮城野区と隣接する多賀城市の津波被災地を歩く菊地司教。これでも海岸線から約2キロ離れている場所だ

3月11日、宮城県三陸沖を震源とする地震が起き、巨大な津波が各地を飲み込んだ。被災地の多くは仙台教区内にあるが、通信手段が遮断されているため、具体的な被害の全容はつかめていない。地震から5日目となる16日には、仙台教区事務局を谷大二(さいたま教区)、菊地功(新潟教区)両司教と、カトリックジャパンから秘書の成井大介神父(神宮修道会)と事務局の稲江佐和子さんが訪問。同教区の平賀徹夫司教と事務局長の小松史朗神父と会談し、今回の震災に対応するため、「仙台教区サポートセンター」を設置することを決定した。(本紙記者同行取材)

被害状況が次第に明らかになる中、仙台教区やカトリックジャパン、他の教区事務局へも、状況確認支援物資の送付、ボランティアの申し出などをさまざまに問い合わせが殺到している。同サポートセンターはカトリック仙台教区センター内に置かれ、平賀司教がセンター長、小松神父が同補佐を務め、センター事務局のた

めにカトリックジャパンから1人が常駐する。今後、他教区からも司祭らがセンタースタッフとして入ってくる見込み。18日よりボランティアと物品の受け付けを開始し、活動は6カ月をめぐるとする。センターからは、被災地の状況などについて定期的に情報発信する。センター事務局の電話番号は、090-1277-3333。

またこの会談で、仙台教区としての募金の受付も決まった。郵便振替番号0226009・2305、加入者名・カトリック仙台教区本部事務局、通信欄に「地震見舞金」と明記された募金でも同様の募金を呼び掛ける。カトリックジャパンへの募金もこれまで同様に行われており、呼び掛けから数日で、2千万円を超える募金が集まった。

ボランティア受け入れ支援へ

仙台市内でのボランティアに関する状況について小松神父は、「いま最も不足しているのはガソリン。自転車か歩いて行くしかない。避難所まで行くのも車が必須になる」と話す。また仙台以外の被災地では、燃料がないことと同時に、道が津波による障害物でふさがれるなどして、現地に行くのが困難な状況。

ボランティアの受け入れに関しては、仙台市が災害ボランティアセンターを宮城野区と若林区に立ち上げ、順次、他の区にも設置していく。当面教会は、そうしたボランティアの人たちに宿泊場所を提供することなどできる。小松神父は話す。活動が始まれば、信者からの自発的支援も始まるだろうとの見通しを示した。一方、衣食に関しては、入ってくるボランティアが自前で準備することが前提になることを、他の会談参加者たちも確認した。

宮城・福島で使用不可の教会も

仙台教区内の状況について、最も被害が大きいと考えられる沿岸部については、依然として通信手段が途絶えているため、教区事務局は状況をつかめていない。地震の翌日、宮城・塩釜教会主任司祭のアン・ドレ・ラザール神父(ケベック外国宣教会)が心臓発作で亡くなったほか、司祭・修道士



仙台教区事務局での話し合い。小松神父(左)は、「沿岸部から内陸への道路が次第に再開されている。内陸の教会が被災者の受け入れ先になる態勢を整えられるよう、連絡を始める。そこにボランティアを送ることになるのではないかと話している。

らの無事は確認された。信者やカトリック学校の生徒の被害状況が現在調べられているが、亡くなった人も判明してきている。16日時点の教会の被害は、宮城・古川、築館の両教会、福島・小名浜教会が使用不可。ただし詳細は不明。岩手・釜石教会が津波で1階部分浸水。それ以外の被災地などは連絡がつかず状況不明。修道院についても、仙台市内はおおむね無事。それ以外については現在、情報取集中。

仙台市内では、電気は復旧しつつあるものの、水道とガスの回復は遅れている。スペルマン病院(設置母体・仙台教区)は、電気は復帰したが、入院患者は1日2食の状態が続いている。仙台市内では全域で、小・中学校など、避難所は多数設けられている。

郵便振替番号:00170-5-95979
加入者名:カトリックジャパン
振込用紙の通信欄に
〈東北地方太平洋沖地震〉と
ご明記ください。

カトリックジャパン(責任司教)菊地功(新潟教区) / 担当司教 幸田和生(東京教区) は3月12日、東日本大震災の被災者を支援するための募金を始めた。カトリックジャパンは、被災した地域のカトリックジャパン担当者や連絡を取り合っている人、被害に遭った人たちの緊急支援、生活回復支援を行う。

読者の皆様へ
今回の震災による交通や通信の混乱、停電など不測の事態が続いたため、本紙3月20日付は休刊せざるを得ませんでした。次号は3月27日付となります。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

東日本大震災で被害に遭われた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。
また犠牲になられた方々のご家族の皆様のために、心よりお祈り申し上げます。 カトリック新聞社